



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社リベロ 上場取引所 東
コード番号 9245 URL <https://www.livero.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 秀俊
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 横川 尚佳 TEL 03-6636-0300
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,544	23.8	535	90.3	538	90.9	369	101.1
2025年12月期第1四半期	1,246	12.2	281	△9.9	282	△10.6	183	△10.9

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 369百万円 (101.1%) 2025年12月期第1四半期 183百万円 (△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	69.72	62.75
2025年12月期第1四半期	34.98	31.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	9,750	2,873	29.3
2025年12月期	7,488	2,658	35.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,857百万円 2025年12月期 2,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,350	22.6	1,100	44.7	1,105	44.4	750	41.1	142.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	5,406,850株	2025年12月期	5,405,500株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	100,099株	2025年12月期	100,099株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	5,305,690株	2025年12月期1Q	5,257,995株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(当社子会社における不適切な資金流出に関する会計処理および調査状況について)

2026年4月21日付「当社子会社における不適切な資金流出および子会社代表取締役の解任に関するお知らせ」につきまして、現在、社内調査委員会を設置し、調査を継続しております。

一次調査時点において判明している金額につきましては、売上原価および販管費の取り消しを行い、その他資産として計上しております。なお、当該金額につきましては、全額回収済みであることから、特別損失の計上はございません。また、現時点で判明している事項につきましては、当第1四半期決算へ必要な反映を行っており、現時点において当社連結業績に与える影響は限定的であると認識しております。

引き続き、6月末頃の調査終了を目途に調査を進めており、調査終了後には、本件疑義の発生原因および再発防止策等を含め、速やかに開示を行う予定であります。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	6
(四半期連結損益計算書に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日から2026年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復の動きがみられた一方、エネルギー価格の変動や物価上昇の影響に加え、海外経済の減速懸念や中東情勢を含めた地政学リスクの高まりなどにより、金融市場を含めた先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、技術革新の進展を背景に、生成AIをはじめとする新たな技術の普及が進んでおり、企業における人材活用の在り方にも変化がみられております。

このような環境の下、当社グループでは、AIの急速な普及を背景に社内の業務プロセスの見直しを進めており、効率化や生産性向上に向けた取り組みが進展しております。また、AIの活用領域の拡大に伴い、開発体制の強化を進めるとともに、サービス高度化に対応するための開発スピードや柔軟性の向上に取り組んでおります。

また、中東情勢等の影響については、燃料価格や資材価格等が高騰する中、当社グループにおいては現時点で業績に重要な影響は生じておりません。一方、こうした外部環境のもとで引越業界においてはコスト負担が増大しており、業務効率化はもはや選択的なニーズではなく、事業者が取り組まざるを得ない経営課題となっております。これを受け、当社が運営する「引越し業界の未来をつくる会」や「HAKOPLA」では、生産性向上に資するシステムや各種取り組みの提供を一層推進してまいります。

このような状況の下、当社グループは、法人企業向けサービス及び不動産会社向けサービスでは、利用ユーザー数・単価ともに順調に成長をしており、売上高につきましては計画通り進捗しております。法人企業向けサービスの新規契約数につきましては、前年を上回る転貸戸数の獲得となり、組織変更の成果が現れ始めているものと認識しております。引越会社向けサービスにおいては、利用サービス数は微増となりましたが、当社事業の中で他事業との連携・送客効果を生み出すハブとしての戦略的な役割を担い、継続的に推進しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,544,095千円(前年同期比23.8%増)、営業利益は538,607千円(前年同期比90.3%増)、経常利益は538,804千円(前年同期比90.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は369,933千円(前年同期比101.1%増)となりました。

なお、当社グループは、移転者サポート事業の単一セグメントである為、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,262,025千円となり、前連結会計年度末に比べ2,004,782千円増加しました。これは「社宅ラクっとNAVI」の取扱い件数の増加により売掛金が1,998,535千円、前渡金が232,127千円、流動資産「その他」が644,784千円増加、現金及び預金が871,002千円減少したこと等によるものであります。なお、売上高に比して売掛金がかさんでいる要因は、「社宅ラクっとNAVI」の引越しサービスでは、当社が受取る手数料と引越代金の総額を売掛金に計上しておりますが、売上高は、引越代金を除いた当社が受取る手数料のみを売上高として計上しているため、売掛金が滞留していることが要因ではありません。また、当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,488,455千円となり、前連結会計年度末に比べ257,553千円増加しました。これは主に賃貸住宅転貸サービスの管理戸数増加に伴い、敷金及び保証金が160,413千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は9,750,480千円となり、前連結会計年度末に比べ2,262,336千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,754,824千円となり、前連結会計年度末に比べ1,793,969千円増加しました。これは主に「社宅ラクっとNAVI」の取扱い件数の増加により買掛金が1,538,410千円、前受金が99,226千円、流動負債「その他」が175,956千円増加したこと等によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における固定負債は2,122,404千円となり、前連結会計年度末に比べ254,105千円増加しました。これは賃貸住宅転貸サービスの管理戸数増加に伴い、預り敷金及び保証金が99,707千円増加し、長期預り金が149,057千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は6,877,229千円となり、前連結会計年度末に比べ2,048,074千円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,873,251千円となり、前連結会計年度末に比べ214,261千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が210,771千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績見通しにつきましては、2026年2月13日に公表した「2025年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。2026年12月期の通期連結業績予想に見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,320,408	1,449,405
売掛金	529,021	2,527,556
前渡金	2,038,586	2,270,714
その他	370,082	1,014,867
貸倒引当金	△857	△519
流動資産合計	5,257,242	7,262,025
固定資産		
有形固定資産	35,145	31,711
無形固定資産	273,801	305,725
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,350,348	1,510,762
その他	571,607	640,531
貸倒引当金	—	△275
投資その他の資産合計	1,921,956	2,151,019
固定資産合計	2,230,902	2,488,455
資産合計	7,488,144	9,750,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	308,368	1,846,779
未払法人税等	200,318	180,694
前受金	1,922,357	2,021,584
その他	529,810	705,767
流動負債合計	2,960,855	4,754,824
固定負債		
預り敷金及び保証金	718,944	818,651
長期預り金	1,132,057	1,281,114
その他	17,297	22,638
固定負債合計	1,868,299	2,122,404
負債合計	4,829,154	6,877,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,544	453,816
資本剰余金	458,544	458,816
利益剰余金	1,837,950	2,048,721
自己株式	△103,981	△103,981
株主資本合計	2,646,058	2,857,373
新株予約権	12,931	15,877
純資産合計	2,658,990	2,873,251
負債純資産合計	7,488,144	9,750,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,246,918	1,544,095
売上原価	291,736	416,964
売上総利益	955,181	1,127,131
販売費及び一般管理費	※ 673,725	※ 591,523
営業利益	281,456	535,607
営業外収益		
受取利息	1,240	2,750
その他	258	447
営業外収益合計	1,499	3,197
営業外費用		
支払利息	656	—
営業外費用合計	656	—
経常利益	282,299	538,804
税金等調整前四半期純利益	282,299	538,804
法人税等	98,375	168,870
四半期純利益	183,923	369,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,923	369,933

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	183,923	369,933
四半期包括利益	183,923	369,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,923	369,933

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行う為、取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越極度額	1,550,000千円	1,550,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	1,550,000千円	1,550,000千円

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
給料及び手当	199,347千円	182,877千円
業務委託費	153,966	118,953

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	19,631千円	26,840千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、移転者サポート事業の単一セグメントの為、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、移転者サポート事業の単一セグメントの為、セグメント情報の記載を省略しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。